

## 災害復興

### 被災住民の不安解消を

町長／自らの危機意識も重要



柏木幸平議員

**柏木** 激特事業やダムの改修、また、支川の改修や内水対策など未整備の段階で雨期を迎えた。被災住民の不安は解消されるか。

**町長** 町としても様々な取り組みを進めています。が、町民の皆様にご理解いただかないと効果がありません。

一元化した情報を町民に提供できるよう周知を図り、自然災害への危機意識を町民自ら持つていただくような啓発活動を進めます。



多くの住民が参加した水理模型実験説明会  
(虎居地区公民館)

### 内水対策を急げ

町長／関係機関と検討する

**柏木** 内水対策は、激特事業に併せた整備や町づくりとの関係等もあり、

早急な対応が必要である。今後の見通しは。

**町長** 内水対策は、地域の課題として認識してい

ます。

排水ポンプなど施設整備を行うための各種事業や都市下水道整備などの内水対策についても、河川事務所と検討を進めています。

#### その他の質問

・激特事業の合意形成は

## 農業

### 農業の町としての課題は

町長／担い手育成に努める



久保道夫議員

**久保** 新しい「さつま町」がスタートして3年目に入るが、本町農業の今後の課題と取り組みは。

**町長** 農業の町としての支援対策の強化「さつま町農林業いきいきプラン」を中心とし、本町の農業を担う「担い手」育成を



かぼちゃの集荷作業（中津川ライスセンター）

積極的に進め、産地づくり交付金等の見直しで、重点品目を中心に産地化に取り組みます。

### 産地間競争に打ち勝つ対策は

町長／JAとの協力により進める

**久保** 農産物の産地間競争が厳しいなか、売れる農産物を目指すなかで、町長としての農産物販売戦略は。販売促進係の設置は。

**町長** さつま農協第13次中期3か年計画に取り組みが示されていますので、

JAとの販売網をさらに強化して、インショップ等の活用で、有利販売を目指しながら、今後も「安心・安全」な農産物販売に取り組みます。今のところ係の設置は考えていません。

#### ※インショップ

店内店舗。デパートやスーパーなどの大型店舗の一角にある顧客層・品揃えを絞った売り場。